

《企業紹介》

同社はベトナムの大手鉄鋼メーカーである。1992 年に建設用機械・設備商社として創業した。1996 年から鉄鋼製品事業に参入し、2001 年に電炉による粗鋼生産を開始した。製鉄事業のほか、農業関連事業、不動産事業も手掛けている。

同社の特徴はアグレッシブな経営である。2020 年 8 月に第 3 号高炉を、2021 年 1 月に第 4 号高炉を相次いで稼働させ、積極的に鉄鋼生産能力を増強し、2021 年 1-3 月期には粗鋼生産規模でベトナム国内最大の企業となった。今後も鉄鋼生産能力の増強を進める計画を示す一方、家庭用電気製品の受託生産事業やコンテナ製造事業への進出を表明するなど多角化も積極的に進めている。

《2025 年 4-6 月期業績》

2025 年 4-6 月期の鉄鋼製品の販売数量は、サプライチェーンの混乱を警戒した国内の鉄鋼製品ユーザーが国内メーカーからの調達を積極的に増やす動きを強めた結果、前年同期比 18.0%増の 260 万トンとなった。しかし、世界的な鉄鋼製品の需給の緩み、主要原材料の価格低下によって販売価格が下落したため、売上高は同 9.2%減の 35.9 兆 VND (ベトナムドン) となった。

粗利益率は同 5.1%ポイント上昇の 18.4%となり、粗利益は同 25.6%増の 6.5 兆 VND となった。生産数量の増加による稼働率改善、圧延鋼板などの採算の良い製品の販売構成比上昇、原材料価格の下落などのコストダウン効果が、販売価格下落によるマイナス効果を大きく上回ったようである。

金融費用が同 14.6%増の 4,812 億 VND、販売費が同 10.6%増の 8,253 億 VND、一般管理費が同 17.2%減の 3,222 億 VND となったため、営業費用は同 4.7%増の 1.6 兆 VND にとどまり、営業利益は同 34.4%増の 4.9 兆 VND となった。税引後利益は同 18.0%増の 4.2 兆 VND となった。

同社の 2025 年 12 月期計画は売上高 (値引き等控除前) が同 20.9%増の 170 兆 VND、税引後利益 (少数株主持分控除前) が同 24.8%増の 15 兆 VND となっている。2025 年 1-6 月期累計実績の進捗率は、売上高 (同) が 44%、税引後利益 (同) が 51%となっている。会社計画は順調に進捗しているようだ。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2024年4-6月期		2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期		2025年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	39,555.5	34.1	33,956.3	19.2	34,491.0	0.3	37,621.7	21.9	35,910.5	-9.2
粗利益	5,247.5	64.2	4,731.2	31.6	4,364.9	-2.4	5,424.2	30.6	6,589.7	25.6
(粗利益率、%、%ポイント)	13.3	2.4	13.9	1.3	12.7	-0.3	14.4	1.0	18.4	5.1
営業費用(金融収支を含む)	1,556.0	5.1	1,346.2	-8.2	1,062.1	-8.1	1,617.6	27.7	1,628.9	4.7
営業利益	3,691.5	115.2	3,385.0	59.1	3,302.8	-0.4	3,806.6	31.8	4,960.8	34.4
税引後利益	3,733.2	119.4	3,412.4	56.9	3,286.7	-2.9	3,839.8	17.7	4,972.4	33.2
税引後利益	3,319.3	127.3	3,021.7	50.7	2,806.8	-5.6	3,344.3	16.5	4,256.8	28.2
鉄鋼販売数量(千トン)	2,203	44.3	1,840	7.7	2,207	4.9	2,380	28.6	2,600	18.0

注 鉄鋼販売数量には鋼管や亜鉛メッキ板は含まれない

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より 180 日

News20250805

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ホアファットグループ(HPG)

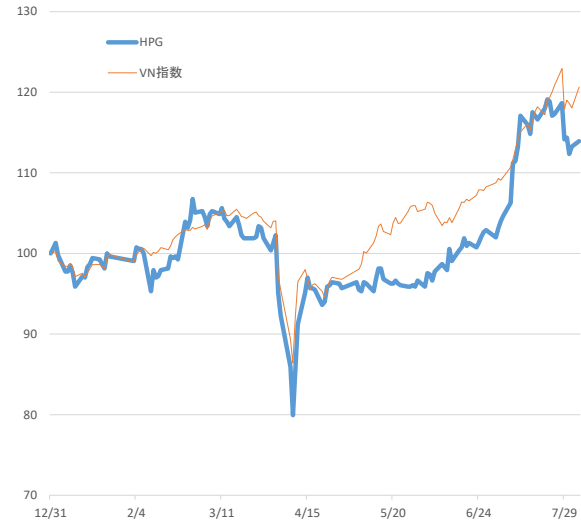


《株価の推移》

同社の株価と VN 指数を 2024 年末の終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。年初からの同社の株価は、概ね VN 指数と連想して推移している。8 月 4 日終値ベースの 2024 年末比上昇率は VN 指数が 21%、同社が 14%となっている。8 月 4 日終値 25,300VND で計算した同社の時価総額は 194.1 兆 VND で、それは 2024 年 12 月期実績の税引後利益 12.0 兆 VND の 16.2 倍となっている。

ベトナム国内の鉄鋼需要は、政府主導のインフラ投資拡大に加え、住宅開発向けの需要も回復に向かっているようであり、2025 年 1-6 月累計のベトナム国内鉄鋼製品の需要は前年同期比で 2 桁増となった。堅調な需要に国内メーカーからの調達を増やす動きも加わり、業況は大きく改善しているようである。しかし、世界的には鉄鋼製品の需給は緩んでおり、一般的な鉄鋼製品の価格低迷は続いている。また、主要原材料の価格下落が続いていることを考慮すると、鉄鋼製品価格の下落基調が転換することは期待できない。このような需給環境の悪化が同社の業績に影響を与える可能性には注意するべきだろう。本格的な稼働は 2026 年 1-3 月期以降となる見通しだが、同社が進めているズンクワット製鉄所の能力増強（現在約 900 万トン/年→工場完成後 1,400 万トン/年）の売上高や利益率に与える影響についても十分に留意するべきだろう。

図表2 株価推移



出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250805

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。